

# カンボジア国廃棄物中間処理技術の普及及び再資源化促進に向けた事業調査(中小企業連携促進)

## 企業・サイト概要

- 提案企業：興亜商事株式会社、株式会社フォーバル
- 代表企業所在地：愛知県名古屋市
- サイト：カンボジア国・スヴァイリエン市



## カンボジア国の開発課題

カンボジア国では、増加する人口に比例して排出される廃棄物量も年々増加している。地方では、廃棄物の中間処理施設が未整備で、適切な回収・選別等の処理も行われていないため、廃棄物処理体制の整備が急務となっている。

## 中小企業の製品・技術

- ・ 廃棄物再資源化における中間処理（回収・リサイクル原料化・資源販売）
- ・ 生産性の高い再資源化プロセスを投入することで、純度（換金価値）と密度（輸送効率）を高める収益性を図る。

## 日本の中小企業の事業戦略

- ・ スバイリエン市及び最終処分場と協力し、廃棄物中間処理施設を設置。スバイリエン市と連携し、市民分別教育と効率的な行政運営をサポートすると共に、一般家庭及び工場・工業団地の集積所の廃棄物を管理・回収する。
- ・ 日本流の純度を高める選別と圧縮技術を施したうえで、廃棄物商社へ販売を行う。

## 中小企業の事業展開を通じて期待される開発効果

廃棄物の適正な処理フローを構築することで、スバイリエン市の最終廃棄物量を60%減少と、最終廃棄物量の減少によるスバイリエン市民の生活環境を改善、公害の発生抑制や水資源の保護、生物多様性維持の実現を目指す。資源循環インフラの構築は、周辺工場の廃棄物処理コスト削減とコンプライアンス順守を促すものと期待する。加えて、ウエストピッカーに適正な雇用の場を提供し、当事業が直接的に貧困問題を解決することを目標とする。